

最近の雇用情勢について

(平成29年9月)

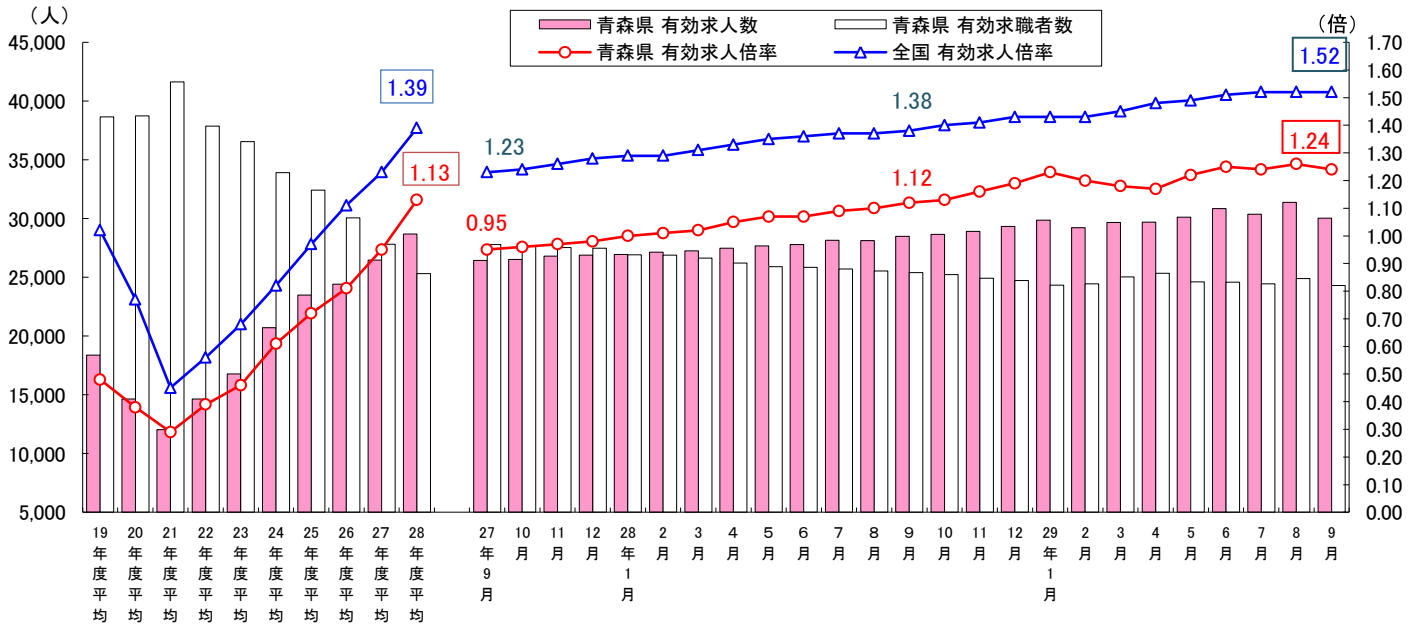
青森労働局

I 求人・求職・受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

9月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ4.3%減少し30,036人、有効求職者数(同)は2.4%減少の24,293人で、有効求人倍率(同)は1.24倍となり、前月を0.02ポイント下回った。

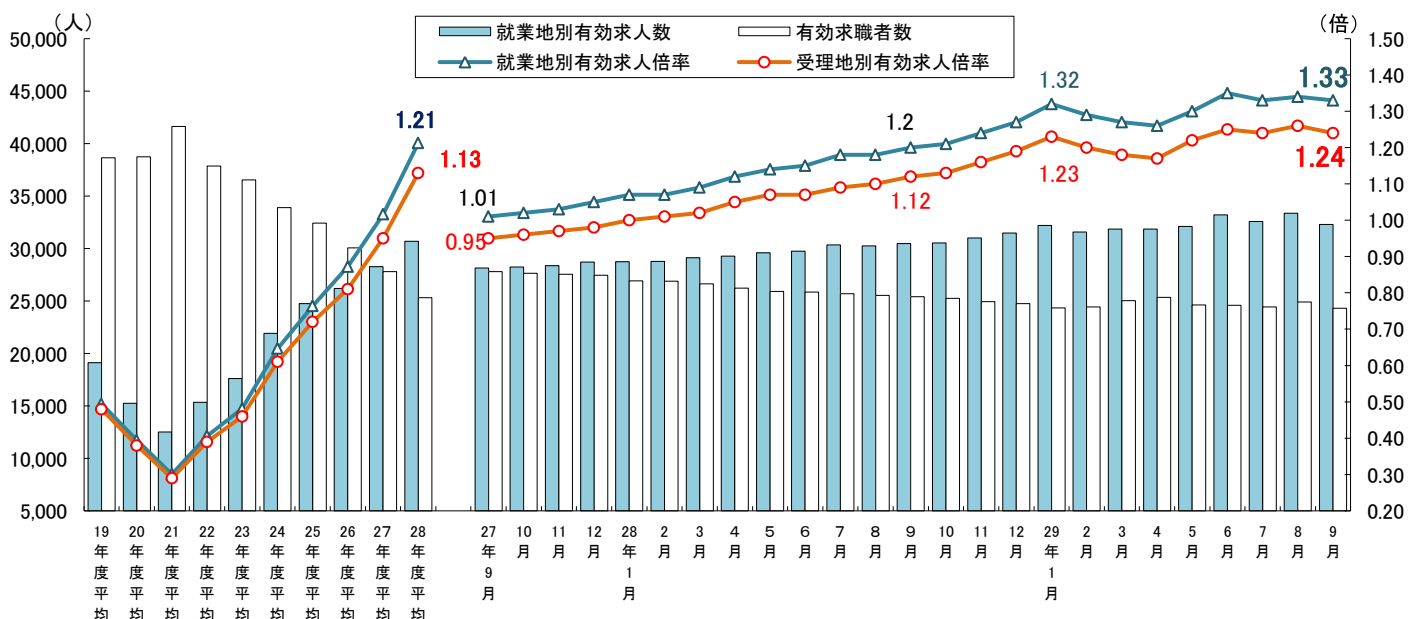
就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は、1.33倍となり、前月を0.01ポイント下回り、受理地別の倍率を0.09ポイント上回った。

受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】 就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)

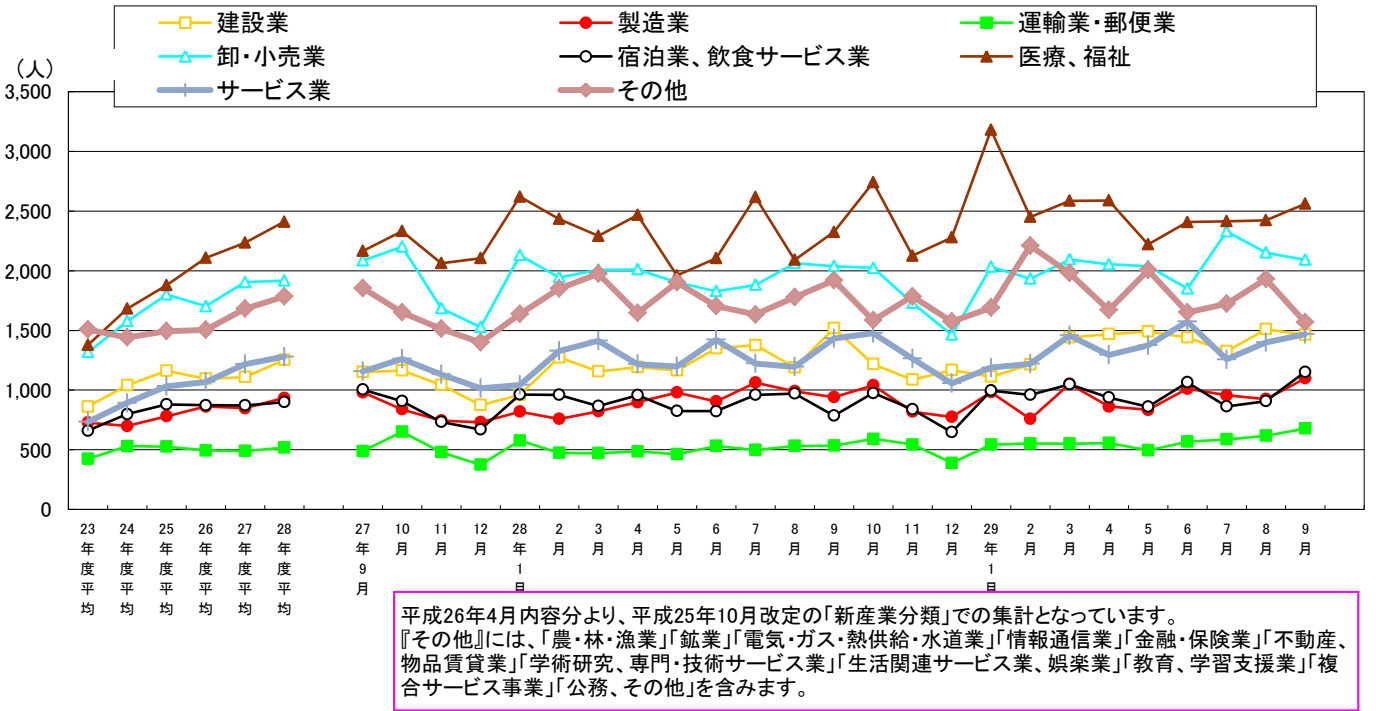


全国ハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成28年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

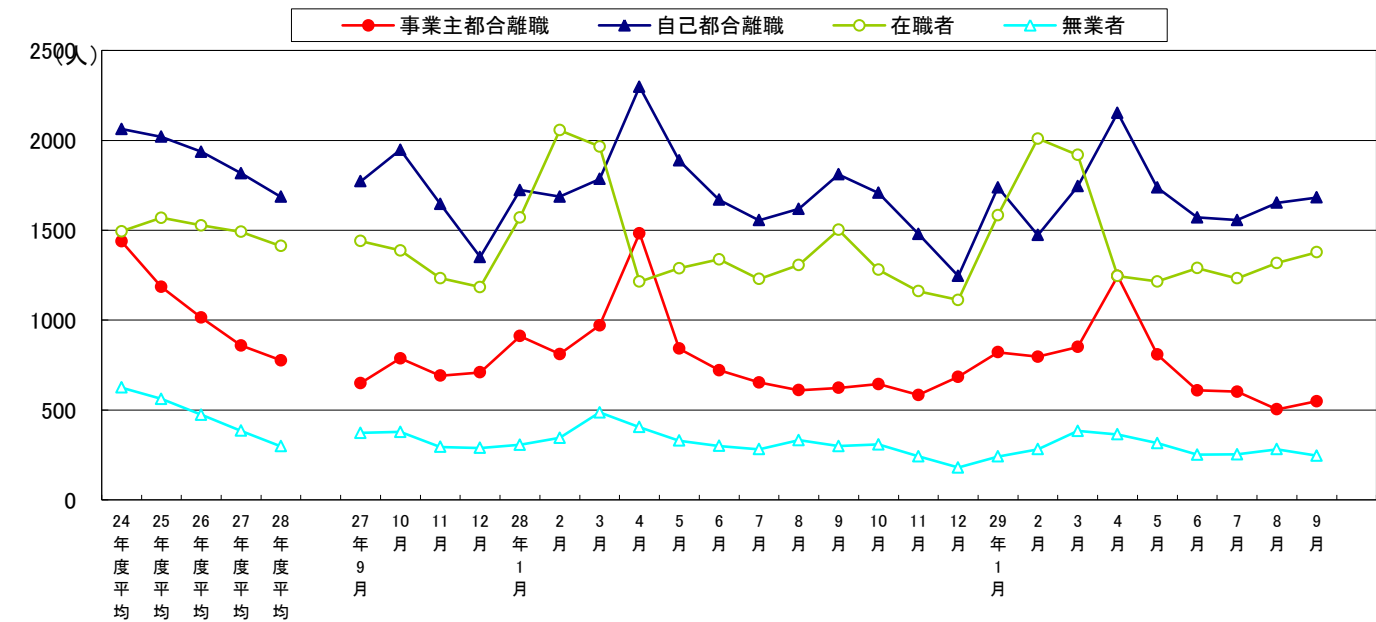
Ⅱ 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

9月の新規求人数(原数値)は前年同月比5.1% (585人) 増加、前月比1.9% (220人) 増加の12,081人。
産業別で前年同月と比較すると、製造業、運輸、郵便業、卸売、小売業、宿泊、飲食サービス業、医療、福祉等で増加し、農、林、漁業、建設業、生活関連サービス、娯楽業、複合サービス事業等で減少した。製造業では、繊維工業、パルプ・紙・紙加工品製造業、金属製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業のみが減少した。



Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

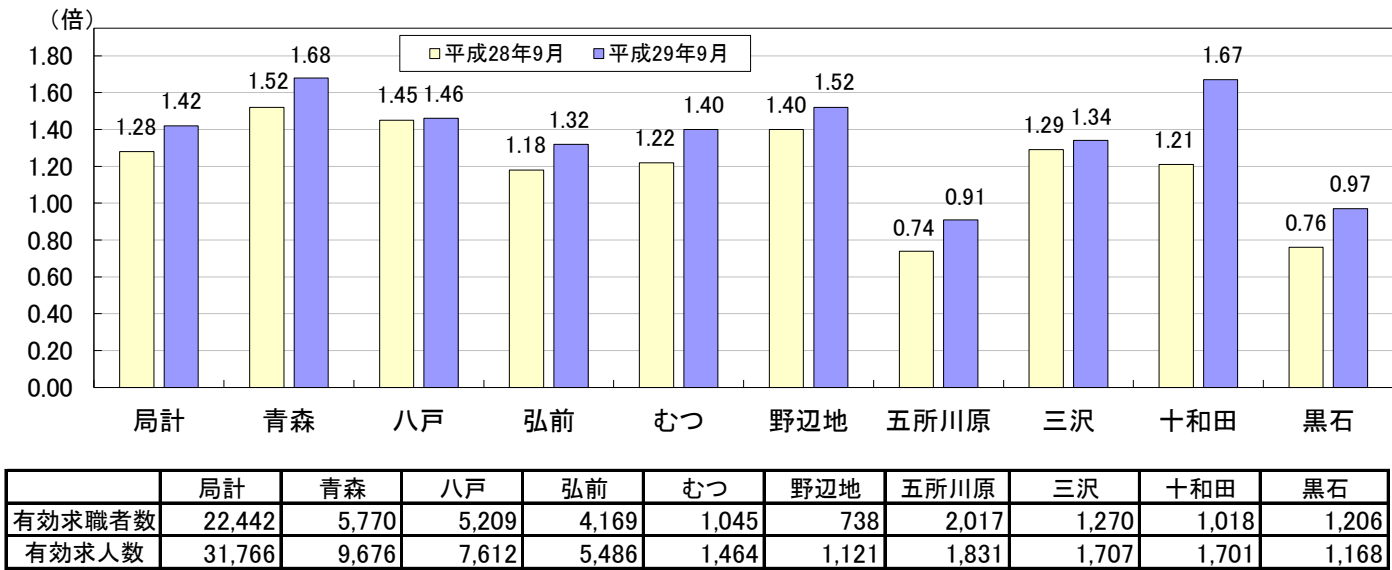
9月の新規求職者数は、前年同月比9.1% (395人)減少、前月比2.5% (94人)増加の3,922人。
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は8.3% (125人)減少し、離職者は8.6% (217人) 減少、無業者は17.7% (53人) の減少となった。
離職理由でみると、事業主都合は12.0% (75人) の減少、自己都合は7.1% (128人) の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

9月の局計の有効求人倍率（原数値）は1.42倍となり、前年同月を0.14ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



V 雇用保険の状況

9月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比6.9%（398人）減少、前月比では7.2%（417人）減少の5,388人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比3.9%（55件）増加、前月よりも9.8%（132件）増加し1,476件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比29.0%（74人）増加、前月比62.1%（126人）増加し329人となった。

